

岐阜県は『近代養蜂発祥の地』と言われ、明治時代から養蜂に関係する事業が盛んです。県内のミツバチの飼育戸数は384戸(第4位)、蜂群数6200群(第10位)、ハチミツ生産量も122トン(第9位)で、全国的にも養蜂の盛んな地域です。そこでミツバチやその生産物に関わる病気をテーマに市民講座を企画しました。

市民公開講座

ミツバチと病気



ミツバチの病気の伝播

土田浩治
岐阜大学応用生物科学部教授

アメリカ腐蛆病と
ヨーロッパ腐蛆病

荒井理恵
埼玉県農林部畜産安全課主査(連合獣医学研究科修了生)

蜂蜜と幼児ボツリヌス症

五十君静信
東京農業大学教授、元連合獣医学研究科客員教授
元厚生労働省国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長

参加費
無料

事前登録不要

2018年

3月23日(金) 14:00~17:00

岐阜大学 サテライトキャンパス

岐阜スカイウイング37 東棟4階

〒500-8844 岐阜市吉野町6丁目31番地



〈アクセス〉 JR 岐阜駅から徒歩5分 名鉄岐阜駅から徒歩7分

【主催】岐阜大学大学院連合獣医学研究科
【共催】一般社団法人 岐阜県医師会、公益社団法人 岐阜県獣医師会
岐阜県、岐阜大学応用生物科学部
岐阜大学応用生物科学部附属家畜衛生地域連携教育研究センター

問合せ先
岐阜大学大学院連合獣医学研究科
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
TEL: 058-293-2987 FAX: 058-293-2992
E-mail: renju@gifu-u.ac.jp